



お茶の京都

2021

お茶の京都 木津川古寺巡礼バス



もうひとつの京都 お茶の京都エリアの木津川市地域を便利に周遊いただける、観光ループバス「お茶の京都 木津川古寺巡礼バス」を運行します。



運行期間 春季:4月、5月の土日祝日(22日間) 秋季:10月31日、11月の土日祝日(11日間)

運行経路 JR奈良駅西口～近鉄奈良駅～浄瑠璃寺前～岩船寺～浄瑠璃寺前～JR加茂駅西口～岡崎(海住山寺最寄り)
※記載のバス停以外には停車しません ※海住山寺までは、徒歩40分程度

問合せ 奈良交通お客様サービスセンター:0742-20-3100(8:30～19:00年中無休)

ダイヤ JR奈良駅西口 → 岡崎(海住山寺最寄り)

JR奈良駅西口	8:34	9:34	10:34	12:34	13:34	14:34
近鉄奈良駅	8:41	9:41	10:41	12:41	13:41	14:41
浄瑠璃寺前	9:04	10:04	11:04	13:04	14:04	15:04
岩船寺(着)	9:11	10:11	11:11	13:11	14:11	15:11
岩船寺(発)	9:12	10:12	11:12	13:12	14:12	15:12
浄瑠璃寺前	9:18	10:18	11:18	13:18	14:18	15:18
JR加茂駅西口	9:32	10:32	11:32	13:32	14:32	15:32
岡崎(海住山寺最寄り)	9:36	10:36	11:36	13:36	14:46	15:36

岡崎(海住山寺最寄り) → JR奈良駅西口

岡崎(海住山寺最寄り)	10:40	11:40	12:40	14:40	15:40	16:40
JR加茂駅西口	10:44	11:44	12:44	14:44	15:44	16:44
浄瑠璃寺前	10:58	11:58	12:58	14:58	15:58	16:58
岩船寺(着)	11:04	12:04	13:04	15:04	16:04	17:04
岩船寺(発)	11:05	12:05	13:05	15:05	16:05	17:05
浄瑠璃寺前	11:12	12:12	13:12	15:12	16:12	17:12
近鉄奈良駅	11:35	12:35	13:35	15:35	16:35	17:35
JR奈良駅西口	11:42	12:42	13:42	15:42	16:42	17:42

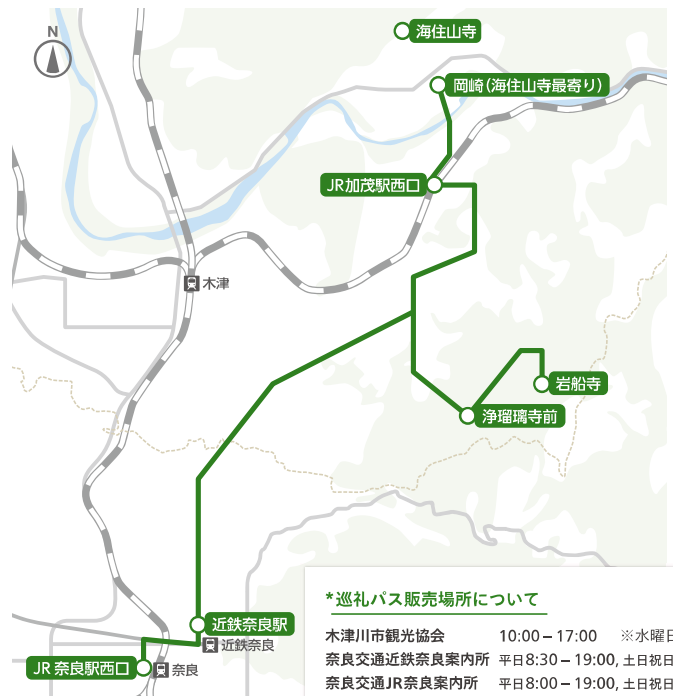
運賃(円)

※大人運賃を記載。小児運賃は記載金額の半額、端数は十円未満を切り上げ。

			JR/近鉄奈良駅	
		JR加茂駅西口	590	
	岡崎(海住山寺最寄り)	190	800	
	浄瑠璃寺前	480	400	580
岩船寺	200	610	500	790

古寺巡礼バスのほか、木津川市コミュニティバスも一日乗り放題となる「お茶の京都 木津川古寺巡礼バス」を販売*しています。

大人:1,200円 小児:600円



各種詳細は下記のQRより、奈良交通HPをご覧ください



*巡礼バス販売場所について

木津川市観光協会	10:00～17:00	※水曜日定休
奈良交通近鉄奈良案内所	平日8:30～19:00, 土日祝日8:30～18:00	
奈良交通JR奈良案内所	平日8:00～19:00, 土日祝日8:00～18:00	

浄瑠璃寺



 「浄瑠璃寺前」バス停から徒歩すぐ

寺の縁起には、奈良時代に聖武天皇が僧行基に命じて建立させたのがはじまりと伝えていますが、浄瑠璃寺の記録「浄瑠璃寺流記事」(重要文化財)の記すところでは、永承二年(1047)に、当麻出身の僧義明が薬師如来を安置して開基したことを伝えていいます。浄瑠璃寺の名は、東方浄瑠璃浄土の主、薬師瑠璃光如来に因んだものです。その後、平安時代末期になって九体阿弥陀仏を安置する阿弥陀堂を建立し、庭園を整備して今日の姿になりました。

主な文化財 庭園 (史跡・特別名勝)
九体阿弥陀仏と本堂(阿弥陀堂) (国宝)
三重塔 (国宝)
吉祥天女像 (重要文化財)

 「岩船寺」バス停から徒歩すぐ

寺の縁起によると、天平元年(729)、聖武天皇の勅願によって開基したと伝え、平安時代の本尊阿弥陀如来坐像、普賢菩薩坐像、鎌倉時代の十三重石塔や五輪塔、室町時代の三重塔(いずれも重要文化財)というように、それぞれの時代に優れたものがつくられました。歴史的にも美術的にも、浄瑠璃寺などと同じく南都興福寺の影響を強く受けた寺院です。

山間部の谷間にあることから広葉樹が多く、初夏の新緑、秋の紅葉は修理の終わった三重塔の朱ともマッチして、こぢんまりとした境内に奥行きを与えています。また、境内一帯に植えられたアジサイが美しく咲くことでも知られています。

主な文化財 阿弥陀如来坐像 (重要文化財)
三重塔 (重要文化財)
厨子入普賢菩薩騎象像 (重要文化財)



岩船寺

 「岡崎」バス停から徒歩約40分

天平7年(735)、聖武天皇の勅願により、東大寺の良弁僧正が開創したと伝えられています。寺の縁起では、寺院建立の折り地面より湧出した十一面観音菩薩を本尊とし、当初は観音寺と呼ばれたと云います。海住山寺の名は、鎌倉時代に寺院を再興した解脱房貞慶が、観音霊場に因んで名づけたものです。

山上の伽藍は、貞慶が復興して後のもので、本堂の傍らにそびえる朱塗りの五重塔は、山並みに映える鎌倉時代の傑作で、国宝に指定されています。

また、鎌倉時代に海住山寺にいた高僧・慈心上人が明恵上人から茶の種子を受け取り、鷲峰山の麓の「原山」に栽培したのがこの地域の茶栽培の始まりといわれており、日本遺産「日本茶800年の歴史散歩」の構成文化財にもなっている、お茶にゆかりの古刹でもあります。

主な文化財 五重塔 (国宝)
十一面観音菩薩立像 (重要文化財)
文殊堂 (重要文化財)

海住山寺



上記以外にもイベントなどを随時開催しています。詳しくは右記のQRコードより、木津川市観光ガイドをご覧ください。



事業全般についての問合せ
お茶の京都DMO(一般社団法人 京都山城地域振興社)
〒611-0021 京都府宇治市宇治乙方7-8 京阪宇治ビル2F
TEL:0774-25-3239 FAX:0772-25-3238
e-mail: dmo@ochanokyo.jp URL: http://ochanokyo.jp/

市の観光についての問合せ
木津川市マチオモイ部観光商工課
〒619-0286 京都府木津川市木津南垣外110-9
TEL:0774-75-1216